



コロナ危機の克服に全力

県民生活再建の一助約束



福島県議会議員

渡辺てつや
県議会農林水産常任委員会委員・県議会広報委員
自民党県議会議員会受動喫煙防止条例PTメンバー

皆様のおかげで、県議会議員選挙に初当選させていただいて以来、日々地元の課題解決、県民生活の向上に向けた議員活動に取り組みしております。はじめに、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医師や看護師ら医療関係者の方々、保健所や臨床検査技師、消防機関の方々など、感染リスクのある極限の状況の中で、懸命に人命を守り、感染防止に全力を尽くしていただいている関係者の皆様には、深く敬意と感謝の意を表します。

皆様のおかげで、県議会議員選挙に初当選させていただいて以来、日々地元の課題解決、県民生活の向上に向けた議員活動に取り組みしております。はじめに、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医師や看護師ら医療関係者の方々、保健所や臨床検査技師、消防機関の方々など、感染リスクのある極限の状況の中で、懸命に人命を守り、感染防止に全力を尽くしていただいている関係者の皆様には、深く敬意と感謝の意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響は県民生活や社会経済活動に深刻な影響を及ぼしております。私の議員活動の中でも、過酷な状況で使命を全うする医療関係者の方々や、緊急事態宣言を受け、営業自粛を余儀なくされた飲食業や旅館、ホテル業の方々、農産物の生産販売への影響を危惧する農家の方々から、不安や悲痛な思いが寄せられています。その声を県当局に真摯に伝え、県民生活の実態に即した対応を求めました。この間、感

復興に向けた県民の歩みは続きます。令和元年東日本台風等の大規模災害からの復旧も道半ばであり、さらには、地方創生・人口減少対策など本県を取り巻く課題は山積しておりますが、震災、原発事故後、福島県民の「絆」のもとに、世界で類を見ない取り組みを続けてきた本県だからこそ、この危機を一丸となって乗り越えられるものと信じます。

私は2月県議会の初登壇に続き、6月県議会でも一般質問で登壇し、新型コロナウイルス対策や令和元年東日本台風等被害からの復旧、犯罪被害者支援の在り方を県執行部に質しました。こうした日々の活動を報告すべく、2月議会とは違う新たな紙面で皆様にお伝え

致します。コロナ危機の中でも、新聞記者の目線を忘れず、県政の最前線で県民の思いを訴え、県民生活の再建に向けた一助となることを約束します。

致します。コロナ危機の中でも、新聞記者の目線を忘れず、県政の最前線で県民の思いを訴え、県民生活の再建に向けた一助となることを約束します。

農産物や観光業への施策ただす

輸出促進や県内周遊支援を明言

新型コロナウイルス感染症の影響で県全体が深刻な影響を受けている中、知事はどのように県政を運営していくのか。

A内堀雅知事
県民の命と生活を守るため、感染症の拡大防止、医療提供体制の整備、経済活動などの回復などに

向け、県の総力を挙げてこの危機的状況に対応してきた。私は逆境を力に変えながら、県民の皆さんと共に、この危機を乗り越え、挑戦県へくしませるの志のもと、復興と地方創生にしっかりと取り組んでいく。

Q新型コロナウイルス感染症対策について、県は農産物の輸出促進にどのような取り組みをいくのか。

A観光交流局長
「コメの県別輸出量が日本一のマレーシアで県産米のプロモーションを実施し、さらに、シンガポールの大手量販店では、初めて県産米の取り扱いを始める予定だ。今後とも、輸出関係者との連携を深め

ながら、県産農産物のおいしさを広く伝えていく。

Q新型コロナウイルス感染症対策について、県内企業の外国人材の不足にどのように対応していくのか。

A商工労働部長
入国制限措置等により、人手を確保できない企業が増えていることから、これらの企業情報を、福島労働局と県の就職相談窓口との間で共有することにも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた求職者とのマッチングに向けた助言につなげるなど、関係機関と連携しながら、個々の実情に応じたきめ細やかな就労支援に取り組んでいく。

Q新型コロナウイルス感染症対策について、自衛隊の取

り組みは。



新型コロナウイルス感染症対策について、県は農産物の輸出促進にどのような取り組みをいくのか。

観光交流局長

コメの県別輸出量が日本一のマレーシアで県産米のプロモーションを実施し、さらに、シンガポールの大手量販店では、初めて県産米の取り扱いを始める予定だ。今後とも、輸出関係者との連携を深め

ながら、県産農産物のおいしさを広く伝えていく。

新型コロナウイルス感染症対策について、県内企業の外国人材の不足にどのように対応していくのか。

商工労働部長

入国制限措置等により、人手を確保できない企業が増えていることから、これらの企業情報を、福島労働局と県の就職相談窓口との間で共有することにも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた求職者とのマッチングに向けた助言につなげるなど、関係機関と連携しながら、個々の実情に応じたきめ細やかな就労支援に取り組んでいく。

自衛隊の取



新型コロナウイルス感染症対策について、県は農産物の輸出促進にどのような取り組みをいくのか。

観光交流局長

コメの県別輸出量が日本一のマレーシアで県産米のプロモーションを実施し、さらに、シンガポールの大手量販店では、初めて県産米の取り扱いを始める予定だ。今後とも、輸出関係者との連携を深め

ながら、県産農産物のおいしさを広く伝えていく。

新型コロナウイルス感染症対策について、県内企業の外国人材の不足にどのように対応していくのか。

商工労働部長

入国制限措置等により、人手を確保できない企業が増えていることから、これらの企業情報を、福島労働局と県の就職相談窓口との間で共有することにも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた求職者とのマッチングに向けた助言につなげるなど、関係機関と連携しながら、個々の実情に応じたきめ細やかな就労支援に取り組んでいく。

自衛隊の取

令和2年6月定例県議会一般質問



新型コロナウイルス感染症対策について、県は農産物の輸出促進にどのような取り組みをいくのか。

観光交流局長

コメの県別輸出量が日本一のマレーシアで県産米のプロモーションを実施し、さらに、シンガポールの大手量販店では、初めて県産米の取り扱いを始める予定だ。今後とも、輸出関係者との連携を深め

ながら、県産農産物のおいしさを広く伝えていく。

新型コロナウイルス感染症対策について、県内企業の外国人材の不足にどのように対応していくのか。

商工労働部長

入国制限措置等により、人手を確保できない企業が増えていることから、これらの企業情報を、福島労働局と県の就職相談窓口との間で共有することにも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた求職者とのマッチングに向けた助言につなげるなど、関係機関と連携しながら、個々の実情に応じたきめ細やかな就労支援に取り組んでいく。

自衛隊の取

新型コロナウイルス感染症対策

福島県の子算累計額 **947億円**

県民のみなさまのご協力のもと、感染拡大が抑えられておりますが、落ち込んだ県内経済や雇用の回復を図るため関係機関と連携しきめ細かな支援を行ってまいります。

【6月補正予算の主な内容】

- 医療従事者等への慰労金や手当金の支給……(103億411万円)
- ふくしま応援スタンプラリー事業……(15億1,383万円)
- サプライチェーンの強化支援……(1億円)
- 遠隔学習等に向けたICT教育環境の整備……(2億5,329万円)
- 入院病床の確保……(58億2,821万円)
- 観光周遊宿泊支援対策事業……(6億6,904万円)
- 肉用牛経営支援事業……(2億円)

援について、どのように進めていくのか。

A生活環境部長

きめ細やかな窓口対応をするとともに、性暴力等被害救済協力SACR Aふくしまの相談対応や医療費助成、県営住宅への優先入居など、関係機関等が連携して取り組んでいる。今後とも、被害者等の置かれた状況に応じた適切な支援についてさらに研究し、一層、寄り添った対応に努める。

Q県警察はあおり運転の抑止対策にどのように取

り進むのか。

A県警察本部長

改正道路交通法により、妨害運転罪が創設されたことから、改正内容について、各種媒体を活用した広報啓発に努めている。あおり運転の危険性や思いやりと譲り合いの気持ちを持った運転の大切さ、あおり運転を受けた場合の対処法等について、各種交通安全講習の中で周知を図っている。あおり運転に対しては、厳正な交通指導取り締まりと、速やかな行政処分の実施に努めていく。

県産モノ輸出大幅増

今年度、シンガポールに

県は今年度、8月1日現在、マレーシア、シンガポール、インドネシアの3カ国に、県産モノ輸出が大幅に増加した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、海外からの観光客が減少し、県産モノの輸出が伸びたことによる。今年度は、シンガポールの輸出額が、前年度比で約1.5倍に増加した。また、マレーシアの輸出額も、前年度比で約1.2倍に増加した。このように、県産モノの輸出が大幅に増加している。これは、県産モノの品質が高く、海外からの観光客が減少したことで、県産モノの輸出が伸びたことによる。今年度は、シンガポールの輸出額が、前年度比で約1.5倍に増加した。また、マレーシアの輸出額も、前年度比で約1.2倍に増加した。このように、県産モノの輸出が大幅に増加している。

輸出額は、前年度比で約1.5倍に増加した。また、マレーシアの輸出額も、前年度比で約1.2倍に増加した。このように、県産モノの輸出が大幅に増加している。

活動報告

防災エレベーター椅子

2月定例会議の一般質問で、県側に対応を求めた「防災エレベーター椅子」が福島県庁の本庁舎などに設置されました。同椅子は、地震等の災害時にエレベーターが緊急停止した場合、閉じ込められた人間に必要な明かりや水が入っています。また、非常用トイレとしても活用できます。平時は高齢者や障がい者の方が通常の椅子としても活用することができます。今後も県民生活の向上に向けた提言、要望を行っていきます。



要望が実現しました

モモの木々伐採

福島市飯坂町湯野字角間下地区の国道399号のり面上部県有地に植生するモモの木々の伐採の要望を受けました。2011年3月の東日本大震災発生時に崩落の危険性が指摘され、補修・補強工事が行われた「角間下ロックシェッド」北側のり面で、同上部県有地のモモの木々についても一端は枝木が伐採された経過があり、その後、月日が経過する中で木々が伸び、葉や花をつけておりました。要望のあった地元の農振会によると、すでに県有地のモモの木々からは「縮葉病」の感染が確認されており、今後は「せん孔細菌病」に感染した場合の周辺モモ畑への感染拡大の危険性があるとのことでした。同県有地のモモ木々の植生場所は危険箇所への立ち入り禁止などを理由に柵で覆われており、地元住民の立ち入りはできません。地元農振会とともに、県に伐採を要望したところ、迅速に対応していただきました。



要望が実現しました

県理容生活衛生同業組合 新型コロナウイルス感染症に対する 支援要望活動に同行

県理容生活衛生同業組合(中野竹治理事長)と県美容業生活衛生同業組合(五十嵐康之理事長)の新型コロナウイルス感染症に対する支援要望活動に同行しました。中野、五十嵐両理事長は福島市の福島県庁を訪問、太田光秋県議会議長、渡辺義信自民党県連幹事長、宮村安治県商工労働部

長に対し、理容業、美容業の事業継続を支援する「事業継続支援金」の創設とマスク・消毒液の確保の2項目を求め、要望書を提出しました。理容業、美容業は社会生活を維持する上では不可欠な職種の一つとして、緊急事態宣言に基づく休業要請事業者の対象外と



なっています。要請活動では、洗髪や顔そりなどの作業が感染リスクの高いことや、緊急事態宣言下で売り上げが激減している事業者が大半を占めることなどの現状を訴えた上で、県、県議会に対し、衛生的、健康的な県民生活の維持を支える上で、理容業、美容業の支援を求めました。その後、県は「新型コロナウイルス感染症拡大防止給付金」を創設。理容業・美容業を含む県内の事業者を対象に、売上が前年同月比50%以上減少などの要件を設けた上で、定額10万円を交付する事業を実施しました。

福島薬剤師会 新型コロナウイルス対策薬剤の 無料配布

福島薬剤師会(嶺岸邦昭会長)は、福島市のふくしまスカイパークで、新型コロナウイルス対策の活動として、次亜塩素酸水溶液が作れる薬剤の無料配布を行いました。嶺岸会長や直轄第一副会長ら薬剤師約20人の方々が班編成のドライブスルー形式のもとで、来場した市民らに薬剤を配布しました。消毒液として使われる薬剤に関する知識は不可欠であり、正しい知識を知ってもらいたいとの思いで行われました。私もボランティアとして参加し、車両の誘導などに汗を流しました。



自民党議員会 自働喫煙プロジェクトチームの活動

自民党議員会の自働喫煙プロジェクトチーム(P.T)のメンバーとして活動しています。来月2月議会での条例案の議員提出を目指し、医師ら専門家、関係団体からの意見聴取のほか、会派内の議論形成、草案作成などの作業を進めています。議員活動のライフワークである健康長寿づくりや、子どもや妊婦の健康を守る観点を大切にしながらP.Tの一員として全力を尽くします。



モモせん孔細菌病現地視察

自民党議員会農林水産部会の一員として、伊達市と桑折町でモモせん孔細菌病の現地調査活動を行いました。近年の温暖化や昨秋の令和元年東日本台風、今夏の日照不足などの影響で、被害が拡大するモモせん孔細菌病について、現地での生育状況を確認したほか、生産者から被害状況を伺いました。このうち、桑折町のモモの圃場では、佐藤那雄伊達果実農協



組合長、JAふくしま未来の担当者らから、主力品種のあつきへの被害が広がるせん孔細菌病の状況について、説明を受けました。温暖化や災害などの影響を受ける農業者の方々の思いを県政に伝え、新たな対応などを求めています。

コラム Vol.1

「森の時計はゆつくり時を刻む。ドラマ以北の国からで知られる脚本家の倉本聰さんにいただいた色紙の言葉。2020年春、県議選を目指し、新聞記者を辞めると告げた時に色紙にサインをいただいた。森の時計はゆつくり刻むけれども、人間の時計はほとんど早くなるーとつながる。人間は過去に戻ることはできないとの言葉をいただいたと思ひ、自宅の書棚の隣に飾ったその色紙を見つめ、気を引き締めて家を出る。」

てっちゃん目① 信夫山

私の趣味はウォーキングです。早朝や議員活動の合間などに地域の旧所や名跡、景観などを楽しみながら歩くことが心身のリフレッシュにつながります。最近のお気に入りのコースは福島市のシンボル・信夫山です。早朝などに鳥の声を聞きながら、信夫三山や烏ヶ崎展望デッキなどを巡ります。烏ヶ崎展望デッキは福島市中心部から西部を望む夜景の絶景ポイントですが、早朝や日中の景観も素晴らしく、心が安らぎます。ぜひ、多くの皆さんに訪ねてもらいたいです。

感染拡大防止のため「新しい生活様式」の実践をお願いします。

- 【接触感染の予防】 こまめな手洗いや手指の消毒などをお願いします。
- 【飛沫感染の予防】 マスクの着用や咳エチケットをお願いします。また、「三つの密」(密閉、密集、密接)を避けましょう。

人との間隔はできるだけ2m空ける	手洗いは30秒程度水と石鹸で丁寧に	会話をする時はマスクを着用	毎朝の健康チェック
定期的な換気	感染が流行している地域への移動は控える	買い物は1人で空いた時間へ	運動は空いた時間と場所を選ぶ

電話相談窓口

- 帰国者・接触者相談センター(感染の疑いがある人) 0120-567-747 ※24時間対応
- 一般相談電話番号 0120-567-177 ※平日 午前8時30分～午後9時 土日祝日 午前8時30分～午後5時15分
- 県緊急事態措置コールセンター(県民や事業者などの疑問や不安に対応) 024-521-8643 ※平日 午前9時～午後6時